

<令和元年5月10日（17日） 現職教育資料>

本校のユニバーサルデザインの洗い出しと仲間分け

いわき市立勿来第二小学校

これから私たちは、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「すべての児童が「わかる」「できる」授業づくり」について研究していくわけですが、現段階で、私たちが意識して（意識していなくとも）やっているユニバーサルデザインはないのでしょうか。

今日は、次のような方法で、洗い出しと分類を行ってみます。

- 1 学級の児童の顔を思い浮かべながら、次のようなことを考えてください。授業や学級、学校内、その他いろいろな場面や場所があると思います。
 - (1) 自分がふだん意識してやっているユニバーサルデザイン
 - (2) 意識はしていなかったけれどやっていたユニバーサルデザイン
 - (3) 他の先生方がやっていたユニバーサルデザイン
 - (4) ユニバーサルデザインかどうかわからないけど、それらしいこと
- 2 思いついたものを、付せんにできるだけたくさんメモしてください。
- 3 1～3年生の先生方4名と、4～6年生の先生方+崇先生の4名の2グループに分かれて、それぞれのグループで相談しながら、自分たちが書いた付せんを「仲間分け」してください。
- 4 時間になったら、どんな視点で仲間分けをしたのか、「仲間の名前」を発表してください。教頭先生が、それを板書していきます。
- 5 それぞれの発表が終わったら、どんな視点で仲間分けをしたら分かりやすいかを相談し、全体での仲間分けの視点（仲間の名前）を決めます。決まったら、教頭先生が模造紙をその視点で区切っていきます。
- 6 その視点に従って、自分の書いた付せんを模造紙の区切られたところに貼っていきます。
- 7 現段階の、勿来二小版「ユニバーサルデザインの視点」が見えてくるはずです。

* 準備物 付せん（何色でも 少し多めに） 模造紙1～2枚 マジック